

● 診療科の特色

当科は、2018 年度末にスタッフ全員が退職して 2019 年度から医師1名での診療体制となり、2020 年度も同様の体制で幕を開けた。外来や救急応需に多少の制限はあるものの、岡山大学脳神経外科から週3回非常勤医1名の派遣を受けつつ、地域中核病院の脳神経外科として可能な限りその役割を維持してきた。2020 年 12 月より、待望の常勤医師が 1 名加入し、医師 2 名での診療体制となった。現在もお人員不足であることは否めないが、救急応需における問題はほぼ解消されている。

診療内容としては、出血性脳卒中（脳出血およびくも膜下出血）、脳腫瘍（原発性および転移性）、頭部外傷を中心として手術治療ないし保存的治療を行っている。手術においては、これまでの接眼レンズを覗く手術用顕微鏡の概念を覆す新世代の顕微鏡（モニター画面を見ながら行う外視鏡）をいち早く導入し、手術における様々な新しい試みを始めている。また、『手術で治す認知症』と言われる正常圧水頭症のシャント手術も増加させている。引き続き、『信頼できる脳神経外科』であり続けられるよう、地域医療における役割を果たしていく所存である。

● 入院診療実績

1. 主要手術 年間手術件数 85 件

	手術名	件数
1	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	27
2	水頭症手術(シャント手術)	15
3	頭蓋内腫瘍摘出術	8
3	頭蓋内血腫除去術(開頭)(硬膜下)	8
5	頭蓋内血腫除去術(開頭)(脳内) (含、動静脈奇形 3 件、海綿状血管腫 1 件)	7
6	穿頭脳室ドレナージ術	5
7	脳動脈瘤頸部クリッピング術	3
8	定位脳腫瘍生検術	2
9	減圧開頭術	2
10	その他	8

● 研究業績

1 学会

- 1) 当院での 4K 3D 外視鏡の初期使用経験

吉田 秀行

第 90 回日本脳神経外科学会 中国四国支部学術集会

2020 年 12 月 5 日